

～めざそう 災害に強い土岐川・庄内川～

平成28年 5月20日

国土交通省中部地方整備局

庄内川河川事務所

瑞浪市立稲津小4年生 小里川ダムを見学

～小里川の歴史を学ぶ総合学習の一環として～

瑞浪市立稲津小4年生38名が、小里川ダムを見学します。稲津小では「総合的な学習」の一環で、地域の方から洪水の体験を聞いたり、陶業と小里川の歴史について学んでいます。

児童は、学校から約5kmの道のりを、徒歩で小里川ダムを目指し、過去の水災害の様子や、地域を守るダムの働きを学びます。また、内部設備の見学や洪水調節の実験を通じて、防災意識の向上を図ります。

※小里川ダムでは、多くの人にダムの役割を理解していただけるよう、内部を一般開放しており、どなたでも自由に見学できます。また、予約申込みによる見学会も随時開催しています。

1. 日 時 平成28年5月27日（金）10時 15分～11時30分
（少雨決行。荒天中止の場合、6月2日（木）同時刻に延期）
2. 場 所 小里川ダム管理支所（岐阜県恵那市山岡町田代1565-21）
3. 添付資料 見学会のイメージ、取材登録書
4. 配布先 中部地方整備局記者クラブ、多治見市政記者クラブ、恵那記者会

※取材について 現地取材を希望される報道機関におかれましては、5月26日（木）16時迄に 別紙「取材登録書」をFAXにて提出をお願いします。

【問い合わせ先】

庄内川河川事務所 小里川ダム管理支所長 岡村 修
管理第一係長 佐藤 知尋

電 話 （0573）59-0056

FAX （0573）59-0058

平成27年5月15日（金）、小里川ダム直下流の瑞浪市立稲津小学校4年生40名が、社会見学の一環として、ダムを見学しました。とても暑い日でしたが、学校から5km弱の道のりを元気いっぱい歩いてやって来ました。児童らはダム内部の秘密基地のような雰囲気興奮しながらも、職員の説明に質問が相次ぐなど真剣な表情でダムの役割について学んでいました。

ペットボトルを使った洪水調節の実験では、装置から吐き出される水の量やゲートの位置を確認し合いながら自分たちで何度も行うことで、ダムの役割について体感しながら理解を深めたようでした。

●見学の様子



ゲート室に大接近



ペットボトルを使った洪水調節の実験
「ダムの役割がよく分かった」と大好評



監査廊の長い階段にびっくり
「どこまで続くの!？」



過去の災害や環境についても学習

「ダムの水が凍ったらどうするの？」

「ダムの水の温度は？」

「台風に備えた対策は？」

「ダムを思いついた人は？」

「ダムの部屋はいくつ？」

ダムに興味を持ってもらったようで、次々と質問の声が上がりました。

平成 年 月 日

「瑞浪市立稲津小4年生 小里川ダムを見学」取材登録書

「瑞浪市立稲津小4年生 小里川ダムを見学」について、取材をご希望の報道機関におかれましては、事前にご登録をお願いいたします。

FAX 送信期限：5月26日（木）16時00分

1. 報道機関名 _____

2. 取材者等

(1) ご氏名 _____

(2) 連絡先 TEL _____

(3) 取材人数 _____ 人

(4) 取材車両
の種類等 _____

3. 送信先 (FAX) 0573 - 59 - 0058

4. 問い合わせ先

庄内川河川事務所

小里川ダム管理支所長 岡村 修

管理第一係長 佐藤 知尋

電話 (0573) 59-0056